ZEB　リーディング・オーナーに登録

　現在当法人は、秋田市新屋町に新たに『特別養護老人ホーム共生の里』を建築しております。この、『特別養護老人ホーム共生の里』は 環境省の『平成３１年度ZEB実証事業』に採択され、あわせて令和元年１２月にZEBリーディング・オーナーに登録される予定です。

『ZEB実証事業』とは、高性能省エネ建材や設備機器を導入することにより建築物における一次エネルギー消費量の削減を目指すものです。

『ZEBリーディング・オーナー』とは、ZEB　Ready以上の性能を有する建築物を所有、もしくは計画を保有している建物オーナーと定められ、環境共創イニシアチブが登録・公表している制度です。

　新施設には太陽光発電設備を導入し、平時の温室効果ガス排出抑制など地球温暖化の防止、また、災害時におけるエネルギー供給機能等を発揮することにより、地域の避難所としての役割を果たすことが可能となります。当法人の目指す利用者が安心して暮らせる生活の場の提供、地域との共生が実現でき、社会への貢献に寄与できるものと考えます。